

リーディングDXスクール事業【実践事例】

壬生町立壬生東小学校（栃木県）【指定校】

【取組内容②】 発達段階に応じた丁寧な情報活用能力の育成



4月の様子



12月の様子

教師は子供たちの発達段階に応じて、情報活用能力の育成に努めている。左側の写真は4月の学級の様子を示しており、各教科において教師主導型の一斉指導が多く見られる。一方、右側の写真は12月の教室の様子を示しており、子供たちが主体的に学習活動に取り組んでいる様子がうかがえる。教科横断的に、さらには教育活動全体を見通して、子供たちの発達段階を尊重しながら丁寧に情報活用能力を育んだ結果、子供たちの情報活用能力が向上するとともに学習意欲が高まっている姿が見られるようになった。